

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願いー

現在、消化器・一般外科では、兵庫医科大学消化器外科学講座炎症性腸疾患外科と共同で実施する下記研究のために、本学で保管する下記の診療情報等を下記研究代表機関に対して提供しています。

この共同研究の詳細をお知りになりたい方は、下記の本学での研究内容の問い合わせ担当者もしくは研究代表機関の問い合わせ先まで直接ご連絡ください。尚、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対して利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、同じく本学での問い合わせ担当者もしくは研究代表機関の問い合わせ先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[共同研究課題名] クロウン病の肛門病変に対する治療の問題点解明に関する検討 直腸空置状態での発癌および直腸切断術後合併症について

[共同研究の研究代表機関及び研究代表者]

研究代表機関・研究代表者：兵庫医科大学 消化器外科学講座 炎症性腸疾患外科・教授 池内 浩基
本研究に関する問い合わせ先：兵庫医科大学 消化器外科学講座 炎症性腸疾患外科 准教授 内野 基
電話：0798-45-6371（応対可能時間：平日9時～16時）

[利用・提供の対象となる方]

1990年1月1日～2024年12月31日までの間に、当院消化器・一般外科においてクロウン病肛門病変を有し、直腸切断術または人工肛門造設術により肛門病変の空置を行った方

[利用・提供している診療情報等の項目]

診療情報等：年齢、性別、入院日、クロウン病 病悩期間、術後経過期間、肛門病変の種類、手術日…

[利用・提供の目的] （遺伝子解析研究：無）

クロウン病の肛門病変において人工肛門による空置の癌化リスク、直腸切断手術後の合併症リスクについての解明を目的とした共同研究実施

[主な共同研究機関及び研究責任者]

1. 横浜国立大学市民病院 炎症性腸疾患センター 黒木博介
2. 東北大学 総合外科 渡辺和宏
3. 東北労災病院 大腸肛門外科 高橋賢一
4. JCHO東京山手メディカルセンター 大腸肛門外科 古川聡美

[研究実施期間および主な提供方法]

期間：研究機関長の許可日より 2028年3月31日までの間（予定）

提供方法：□直接手渡し □郵送・宅配 ■電子的配信 □その他（ ）

[この研究での診療情報等の取扱い]

倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[東京女子医科大学における研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

研究責任者：東京女子医科大学 消化器・一般外科 准教授 小川真平

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 消化器・一般外科 小川真平

電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日9時～16時）

[東京女子医科大学における機関長]

理事長 清水治